

硫黄鳥島の火山活動解説資料（令和2年1月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

14日に実施した海上からの観測では、硫黄岳火口内やグスク火山火口周辺で引き続き噴気が認められました。火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図1～5）

14日に実施した海上からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口周辺で、引き続き噴気が出ていることを確認しました。また、硫黄岳火口の西側の海岸付近で変色水域を確認しました。風下側で強い硫化水素臭が感じられました。

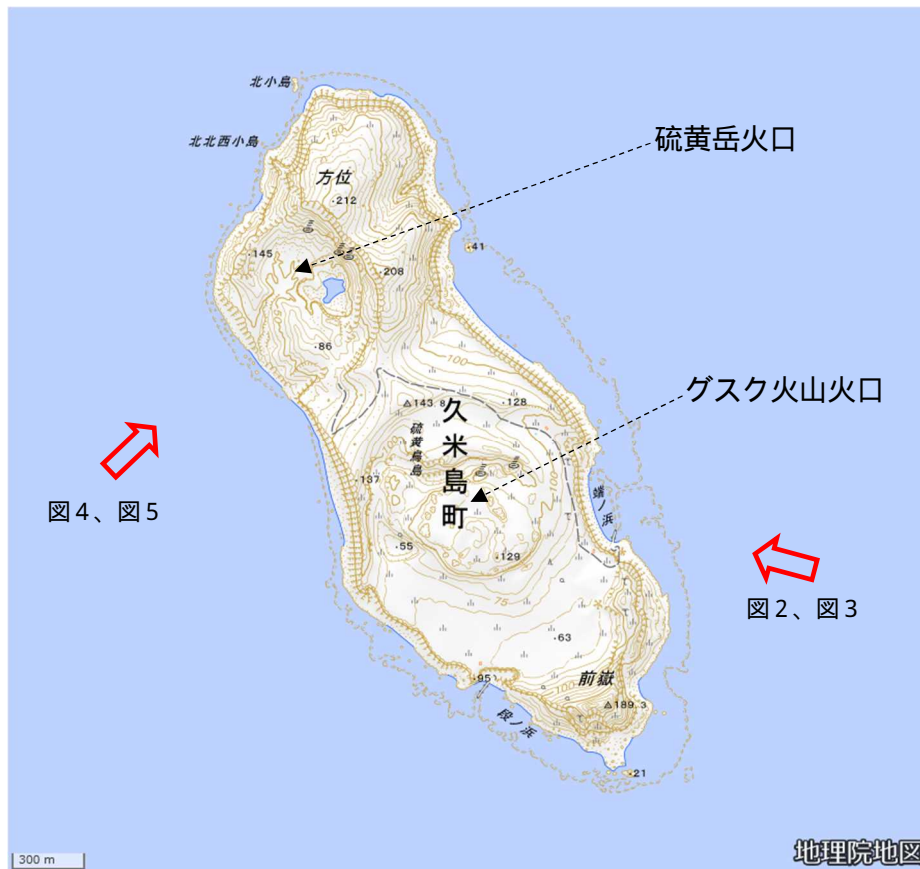


図1 硫黄鳥島 噴気位置と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧できます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokujii.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。



図2 硫黄島 硫黄島の全景（14日撮影）



図3 硫黄島 グスク火山火口の状況（14日撮影）



図4 硫黄島 硫黄岳火口の状況（14日撮影）



図5 硫黄島 硫黄岳南西側の変色水域の状況（14日撮影）